

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年4月1日

事業所名： めばえ学園

保護者等数（児童数） 61

回収数 55

割合 90%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	47	1	0	0	・とてもびのびと子どもが過ごしていて、とてもいい環境だと思う。	・今後も視覚支援などをすることでお子さまにとってわかりやすい環境を作ったり、清掃を徹底したりして、お子さまや保護者の方が気持ちよく施設を利用できるように努めます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	53	1	0	0	・基準を上回る職員数を配置してもらいとても手厚く、安心して通わせてもらっている。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	50	3	0	1	・毎日することだけ、カゴを置く、絵で示すなどして子どもが自分でわかるようにされている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	50	3	0	1	・トイレ・建物が古い。 ・園に行くとき清掃されているところを見かけることが多く、常に清潔にされていてとても心地よく過ごせる。	
適切 な 支 援 の 提 供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	53	1	0	0		・今後もお子さまに合わせた目標設定や援助を行います。また、お子さまが意欲的に取り組める保育内容を考えていきます。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	52	1	0	1	・毎月の月目標を立ててあったり、毎日の保育内容がきちんとわかりやすく示されている。親としても今日はどんな保育をされるのが楽しみ。	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	52	1	0	1	・家庭での目標を達成するために園で本人に声掛けやごほうびシールを作ってもらい助かった。	
	⑧ 活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	49	3	0	1	・季節ごとに行事を組んでもらうので子どもにとってとても楽しい思い出をたくさんつくらせてもらっている。	

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	40	8	2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと交流があると嬉しい。</li> <li>・園庭開放の時間が戸外遊びとは限らないので交流は少なかった。年長児になると交流の場があるとは聞いている。子どもが幼い間は難しいかもしれないが、交流の場がもっとあればと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にお住まいのお子さまとの交流を目的に、10時から11時半の間、園庭開放をしています。自由遊びの時間に自然な交流ができればと考えています。</li> <li>・次年度は近隣の保育園の年長児に園庭遊びに来てもらい交流をする予定です。</li> </ul>
保 護 者 へ の 説 明 等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	53	1	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	53	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	51	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングではとても貴重な話を聞かせてもらい参考にさせてもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も保護者の皆さまのニーズに合わせたペアレントトレーニングなどの学習会を実施していきます。</li> </ul>
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	53	0	1	1		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	55	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方のサポートが手厚く何でも聞くことができ助かっている。保護者同士の連携もとてもできているためありがたい。</li> <li>・いつもたくさんアドバイスをいただき感謝している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な面談のみではなく日常的に必要な助言ができるよう努めます。</li> </ul>
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	39	7	0	9		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	51	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらからの質問にもいつも答えてもらいありがたい。</li> <li>・自分が不安に思ったことや子どもの様子を相談すると、おたより帳に書いたり、会った時に話をしてくれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も保護者の方が相談しやすい雰囲気や体制作りを努め、ニーズに応じられるよう工夫をします。</li> </ul>
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	54	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方が皆、優しくいい方なので安心感が持てるし、おたより帳でのその日の様子など、わかりやすく書いてあるので、おたより帳を読むことが楽しみ。</li> </ul>		

	⑮	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	52	2	0	1	・行事予定などはコードモンで配信されているが、希望者には紙面で配布して欲しい。 ・園のお知らせ、情報などがわかりやすく記載されていると思う。	・ご希望される方は紙面でお渡しできる旨を周知します。 ・ホームページや連絡アプリを通して行事や必要な情報を提供します。また、自己評価の結果も口頭でのお伝えやホームページ掲載をし発信します。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	55	0	0	0		
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	51	0	0	4	・マニュアルもあり、連絡もコードモンを使ってされるのでいいと思う。	・マニュアルの整備、またそれに応じた避難、救出などの定期的な訓練を実施します。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	52	0	1	2		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	はい	やや楽しみにしている	どちらともいえない	いいえ	わからない	・めばえに行くとかわかんるといつも楽しそうにしている。休みの日も通園バックを持っていこうとするくらい本人が楽しみにしている様子がすぐ伝わる。 ・子どもは通園するのを毎日楽しみにしている。安心して送り出せる。
			45	8	1	0	1	
満足度	㉓	事業所の支援に満足しているか	はい	やや満足している	どちらともいえない	いいえ	わからない	・めばえに通うまでは不安しかなかったのですが、園長先生をはじめ先生方、園の子どもたち、他のママたちに出会うことができ本当に良かった。いつも暖かく見守ってもらい感謝している。 ・最初は子どもが上手く馴染めるだろうか、楽しめるだろうかとドキドキしながら見守っていたが、1ヶ月も経たないうちに毎日、通園バスを楽しみに待つ子になった。先生方の丁寧な指導と適切な見守り、または介助のおかげでできることもとても増えた。
			52	3	0	0	0	

(注釈)

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....